



絶対に守らなければいけない
大切な人が、このまちにいる



- 1_放水地点を目指して懸命に走る1番員
- 2_素早くホースを連結する1・2・3番員
- 3_小型ポンプからホースを伝い水を送る
- 4_頭上20%のカゴに入った球を狙う選手
- 5_28秒台で放水競技を制した7分団2班
- 6_元氣よく点検した高木幼年消防クラブ
- 7_規律や動作をしっかり確認する点検官
- 8_新入団員代表で宣誓を述べた吉田敏樹

- 球を落とした。沿道を埋めつくした観覧者から、球が落ちるたびに、歓声と拍手が起こっていた。
- 各部門の上位結果と表彰は次のとおり（敬称略）。
- 【通常点検の部】
- ① 第9分団（小坂）
 - ② 第7分団（木倉）
 - ③ 第4分団（七滝）
- 【放水競技の部】
- ① 第7分団第2班（木倉）
 - ② 第6分団第1班（田代）
 - ③ 第8分団第3班（高木）
- 【機械器具点検の部】
- ① 第5分団第1班（上野）
 - ② 第1分団第2班（御船）
 - ③ 第2分団第1班（滝尾）
- 【機械器具点検・総合の部】
- ① 第2分団（滝尾）
 - ② 第6分団（田代）
 - ③ 第1分団（御船）
- 【年間出場率の部】
- ① 第2分団（滝尾）
 - ② 第5分団（上野）
 - ③ 第7分団（木倉）
- 【総合の部】
- ① 第6分団（田代）
 - ② 第9分団（小坂）
 - ③ 第7分団（木倉）
- 【消防庁長官表彰】
- 前第3分団長・内村良二

御船町消防団（石坂浩秋団長、416人）の通常点検は4月3日、御船中学校グラウンドで開催され、通常点検の部や放水競技の部など、6部門で競われた。

式典では、石坂浩秋団長が「いつ、いかなる災害にも、自分たちのまちは、自分たちで守るという消防精神で、安全・安心な御船町を目指し、住民の期待に応えたい」と訓示。新入団員27人に辞令交付、退団者38人に感謝状が贈られた。町立保育園の幼年消防隊も法被姿で参加して、大人顔負けの点検を披露した。

続く通常点検では、分団ごとに規律や機敏な動作を基準に、上益城消防組合本部の厳正な審査が行われた。

午後からの放水競技は、分団を代表する全16チームの精鋭80人が出場。地上20%にセットした球を落とすまでのタイムなどを競った。競技場所を役場前の歩道に移して、ホースや小型ポンプをセット後、誘導員の合図で順次スタート。団員たちは、正確な動きでホース延長と連結をすませ、「放水始め」の伝令で、

 第9分団長 （小坂） 池田 亮 団員67人	 第8分団長 （高木） 中村友美 団員51人	 第7分団長 （木倉） 田中泰浩 団員49人	 第6分団長 （田代） 川上幸太郎 団員34人	 第5分団長 （上野） 竹内寿幸 団員45人	 第4分団長 （七滝） 園田 徹 団員40人	 第3分団長 （水越） 山崎三広 団員14人
--	--	--	---	--	--	--

 第2分団長 （滝尾） 佐方勝吉 団員29人	 第1分団長 （御船） 神 建一 団員70人	 副団長 （御船全域） 吉田高之	 副団長 （御船全域） 内村光宏	 団 長 （御船全域） 石坂浩秋 団員416人
--	--	--	--	---

防災の要

消防団幹部
12人の顔ぶれ

*カッコ内は管轄する地域

